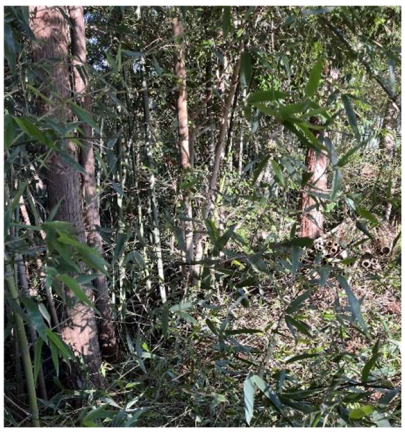
初めての門松づくり

竹取り



まずは、手頃な竹を探しに行きます。

つくりたい門松の大きさを考えて、直径が 6,7cm の竹を探します。

両側分で 2 本必要です。

※持ち主の方の許可を取って竹を頂きました。

3 本に切り分け

おおまかに約 1.5m くらいずつに切り分けます。
計 6 本になります。

※切るときは、節のすぐ下を切るようにします。こうすることで、斜めにカットするときに節をまたいだものも作れます。

斜めにカット

節をまたいで切ることによって、竹が笑ったように見えます。

斜めの角度をそろえるのが結構難しかったです。

※切るときは、竹の下の方から上に向かって切ります。こうすることで、竹の表面が剥がれてしまう事を防げます。

土台作り

土台となる容器にコモを巻き、縄を巻いていきます。

縄は、下から 7 回巻き、5 回巻き、3 回巻きにして、753 にします。

上部をカット

上の余分な部分を切ります。

手前を低く、後ろ側が少し高くなるように切っていきます。

細かな調整は、すべて組んでから行えばいいので、大体で OK です。

竹の 3 本組

竹を 3 本まとめて束ねます。一番大きな竹はお父さん、2 番目はお母さん、3 番目は子どもに見立てることもあるようです。

細い縄を使って下から 753 となるように縄を巻いていきます。

一番大きな竹が外側に来るようにする置き方、内側にする置き方があるので、どちらにするか決めて竹を組んでいきます。

今回は、内側にする置き方です。イメージは写真のような感じです。

飾り付け

3 本組の竹を容器の後ろ側に配置し、発泡スチロールで隙間を埋めていきます。今回は、土は使わないことにしました。

そして、葉牡丹、南天、松の枝をさしていきます。本来ならば、左側が雄松（黒松）、右側が雌松（赤松）となりますが、赤松がなかったので、葉牡丹の色で分けることにしました。

完成

家に持ってきて、最終的な飾り付けを行いました。

千両を加えてみました。これだけでとても華やかですごく豪華になった感じになりました。

葉牡丹、南天、松の位置を調整して飾り付けの完成としました。

アクセントに、扇を容器の前に貼ってみました。

雄松（左側）

雌松（右側）

玄関に置いた門松

完成したので、玄関に置いてみました。何かいい感じです！

初めての門松づくりでしたが、先輩たちに教えて頂きながら完成しました。工夫しながらの製作はとても楽しかったです。